

石畝 剛士 先生

先生のプロフィール

【出身地】

群馬生まれ、石川育ち

【専攻】

民法

【近年(2~3年)の担当科目】

家族法（親族）、家族法（相続）、物権法、民法
総則

【今ハマっていること】

船旅（船でのんびり移動するのが至福です）



【民法に興味を持ったきっかけ、魅力などがあれば教えてください。】

学部学生時代に民法の授業内容が分からなすぎて、このまま「法学部卒業w」というのが恥ずかしかったことがそもそもです。その意味で、民法に興味を持ったというよりは、民法を勉強しなければならない義務感（恐怖感？）にかられて、今まで勉強してきたというのが実情です。

【石畝ゼミの特徴は何ですか？】

教員が自分のゼミの特徴を述べるのは、難しいですね。理想は教員が「置き物」になるくらい、ゼミ生が活発に議論してくれることなのですが、実際はつつい口を出してしまいます。そのような面倒な教員に対して、優しく接して下さるゼミ生には感謝です。

【趣味、休日の過ごし方について教えてください。】

年中無休でバタバタしており、ほぼ学校に住み着き、趣味もろくにできないのが悩みです。もっとも、趣味はないので、まあ良いのですが。趣味かは分かりませんが、時間ができれば、のんびりと外国に行きたい気持ちが年々強くなっています。

【南山大学に来て印象的だったことは何ですか？】

最初に来たときに、オレンジ建物で目が痛かった記憶があります。しかし、不思議なもので、慣れてくると周囲の景観に調和しているように見え、今では非常に良い環境だと思うまで調教されました。ただ、最寄りの駅から大学まで、必ず坂を上らなければならないという点は、何とかしてほしいなあ（まず無理ですが）。

【学生に向けて一言お願いします！】

法学部の学生は基本的におとなしいように思います。うるさくなれ、派手になれという意味ではなく、もう少し積極性を持って行動すると、今までとは違った広がりが見えるように思います。大学時代のそのような（失敗ややかさも含めた）蓄積が、社会に出た後も大きな財産となりますので、失敗を恐れず、いろいろなことに取り組んでください

★ プログレッシブ 石畝 ゼミの実態！（2025年度ゼミ生 13名）
★ 石畝 先生のトリセツ

- ・学生思いの先生です。
- ・学生の質問や相談に、丁寧に答えてくださります。
- ・お願いをすれば、発表前にレジメの添削をしてくださります。
- ・出張などの後はよくお菓子のお土産をくださるので、毎回楽しみにしています！

日々や休暇中の課題

【日々の準備、課題】
春学期、秋学期それぞれ2回ずつの報告準備、または対審式の準備

【長期休暇課題】
特になし

活動内容

・基本的には、「報告式」と「対審式」の2つの方式を行っていますが、ゼミ生の希望によって変更する場合があります。

・対審式とは、原告と被告と裁判官に分かれて一つの事案について模擬裁判を行うものです。